

組織内のAIスキルギャップについて懸念があるときに、優先して取り組むべき事項について。

企業にAIを導入する前に実行すべき3つのこと。

企業のAIスキル不足を明らかにする調査結果が、急速に増えています。2024年後半、IDC社は、テクノロジーリーダーの間でAIへの準備状況が最大の懸念事項になっていると報告しました。¹ また、今年発表されたBain & Company社の調査では、経営幹部の44%が、社内の専門知識の欠如がAI導入を遅らせていると回答しました。²

これらのスキルはますます重要になりつつあります。特に生成AIは急速に進化しており、多くの組織がその進化に追いつくことに苦慮していると話しています。最近では、経営幹部のほぼ半数がMcKinsey社に対し、自社のGenAIツールの開発とリリースが遅すぎると語り、その主な理由として人材のスキルギャップを挙げています。³

スキルギャップが原因でAIを迅速かつ大規模に展開できないと考えることは簡単ですが、本当にそうでしょうか。足りない人材の採用活動を行う前に、AIの活用を加速するための3つの基本的な戦略をまずご検討ください。

1. まずはAIに関する知識を構築

適切なAIスキルを構築するための最初のステップは、企業におけるAIの可能性を十分に理解することです。リーダー層は、生成AIとエージェンティックAIの仕組みや、これらのテクノロジーの実装に必要な基本的情報を理解しておく必要があります。幸いなことに、これらのテクノロジーに対する理解を深めるために役立つ知識は、豊富に存在しています。

ほとんどのビジネスリーダーは、技術的な詳細を深く検討する必要はありません。CIOや技術スタッフと連携することで、知識のギャップを埋めるために必要な情報が得られる可能性があるからです。重要なのは、ビジネス目標をサポートするAIシステムの構築に何が必要かをチームが十分に理解していることです。最近ではCIOの大多数（77%）が、CEOや取締役会と強力な教育パートナーシップを築いていると前向きに報告しています。⁴

「まずは、組織内の知識ギャップを把握する力が必要です」と、HPE AIソフトウェアのシニアプロダクトマネージャーであるAlexander Ollmanは述べます。「AIテクノロジーは急速に進化しているため、その領域でアドバイスをしてくれる外部のエキスパートがいることは有益です。」

たとえば、生成AIの登場から1年余りで、エージェンティックAIがその次の論理的な進化形態として急速に注目を集めています。だからこそ、最新のテクノロジーに精通し、より迅速な行動を後押しするAIエキスパートに協力を求めることが極めて重要だと、Ollmanは述べています。

昨年、HPE、NVIDIA、そしてテクノロジーパートナーのネットワークは、企業が自社のIT資産を評価できるよう支援し、成功に必要な事項についての知見を提供するために連携しました。HPEはまた、AIの実装を簡素化および加速するために、NVIDIA AI Computing by HPEイニシアチブの一環としてHPE Private Cloud AIも発表しました。⁵ HPE Private Cloud AIは、生成AIアプリケーションとエージェンティックAIアプリケーションの価値実現時間を短縮するように設計された、フルスタックのターンキープライベートクラウドです。

2. AI戦略を明確に定義

AIイニシアチブを評価する上でもう1つの重要なステップは、明確な目標を設定することです。何を構築しているのか、なぜ構築しているのかを把握する必要があります。すでにAI戦略がある場合は、達成したいことが明確になるよう、その戦略を洗練させる必要があるかもしれません。

AI戦略には、定量面と定性面の両方からみた、組織にとっての具体的なメリットを盛り込む必要があります。これらのメリットには、財務上の機会の拡大、顧客サービスの向上、プロセスの効率化などが挙げられます。各組織の目標は、それぞれのニーズに応じて異なります。

「お客様と仕事をするとき、通常は、組織の問題点について社内で話し合うことから始めます」と、Ollmanは説明します。「これらの問題点を詳しく調べ、AIがどのようにそれらの課題を軽減または解消できるのかという選択肢を検討します。そして、この話し合いの中で協力し、短期間で得られる成果として、最小限の投資で最大のメリットをもたらすAIプロジェクトを特定します。初期のAIプロジェクトの成功を通じて信頼を築くことは、より大規模で大胆なプロジェクトへの投資の足がかりとなるため、とても重要です。」

ほとんどの組織は、AIの大きな可能性は認識していますが、知識に基づいた最初の一步を踏み出すために必要なことは理解していません。「このような局面で、専門のAIコンサルタントがサポート役として加わることができると、Ollmanは言います。「適切な専門知識があれば、AIを活用する大きなチャンス、最小限の労力で迅速に展開できます。」

¹ IDC's 2024 Global IT Skills Survey: A Regional Comparison, by Gina Smith, December 2024.

² "Widening talent gap threatens executives' AI ambitions - Bain & Company," March 2025.

³ "Superagency in the workplace: Empowering people to unlock AI's full potential," McKinsey, January 2025.

⁴ "State of the CIO Survey 2025," Foundry, 2025.

⁵ "Hewlett Packard Enterprise and NVIDIA announce 'NVIDIA AI Computing by HPE' to accelerate generative AI industrial revolution," HPE Newsroom, June 18, 2024

3. インフラストラクチャのAI準備状況を評価

次に検討すべき問題は、インフラストラクチャの準備状況に対する評価です。「現在、ほとんどのITインフラストラクチャは、既存のITワークロードをサポートするように設定されています。AIインフラストラクチャは今までとは異なるまったく新しい領域です」と、Ollmanは言います。「AIには膨大なコンピュート要件があるだけでなく、電力、熱、冷却の面でもさらなる要件が伴います。」組織では、大規模なAIワークロードを実行できるよう、高帯域幅のネットワーク、高速取得が可能な適切なストレージ、最適化されたソフトウェアレイヤーもさらに必要になります。

必要なインフラストラクチャがすべて揃ったあとは、それらをすべて統合するための知識も必要です。生成モデルとエージェントフレームワークに必要なソフトウェアインフラストラクチャを決定する際に必要となるためです。モデルが拡張可能かどうかという問題も重要です。

「HPEは、スタートアップから大手企業まで、AIで最先端を走る企業と継続的に提携し、お客様に最新のツールやフレームワークに関する最新情報を提供しています」と、Ollmanは言います。「お客様が望む成果の達成に必要な知識を確実に提供することが最も重要です。」これらのフレームワークは、AIの開発と実装を簡素化するライブラリやツールといったインテリジェントシステムを構築するための基盤を提供するため、重要です。

コンテナとオーケストレーションが加わると、AI環境は極めて複雑になる、とOllmanは補足しています。この複雑さを軽減するために、HPE Private Cloud AIは、すべてを一元管理し、生成AIモデルやエージェントAIモデルとそのコンポーネントを必要に応じて拡張するメカニズムを提供しています。このようにインフラストラクチャの複雑さを最小限に抑えることは、AIイニシアチブを迅速に立ち上げ、運用を開始する上で不可欠です。

「自力で構築しようとする、通常は3～6か月かかります」と、Ollmanは言います。「HPE Private Cloud AIを使用すると、計画から展開まで、わずか数日で運用を開始できます。これにより、組織はAIのPOCを迅速に展開し、組織に価値をもたらすAIプロジェクトを特定できます。」

AIの価値をより迅速に実現

技術スタッフのAIスキル不足は、組織がAIの導入を成功させ、AIイニシアチブからROIを達成する上で障害となる要因の1つにすぎません。AIの課題は、人材の採用やインフラストラクチャの追加だけでは、容易に解決できるものではありません。

最適な解決策は、AIに関する明確な目標、堅牢なITインフラストラクチャ、学びの文化（技術スタッフを励まし、スキルを磨くツールを提供する文化）の間のバランスをとることです。テクノロジーが絶えず進歩と進化を遂げている中でも、HPE、NVIDIA、その他のエキスパートパートナーが、AIの実装とそのメリットの享受に向けた計画策定をお手伝いします。

詳細はこちら

[HPE.com/ai](https://hpe.com/ai)

HPE.comにアクセス

今すぐチャット

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

NVIDIAロゴは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標および/または登録商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a50013431JPN

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

hpe.com

